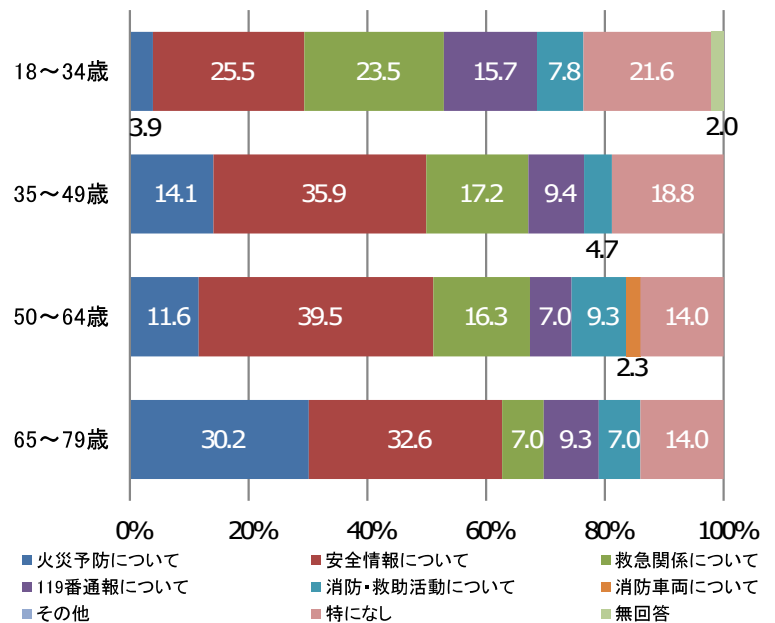
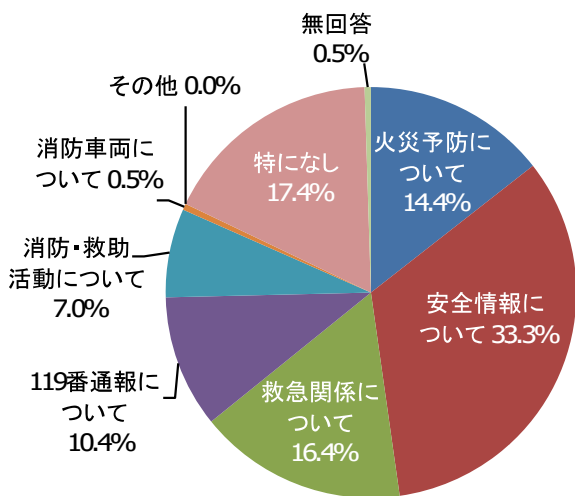


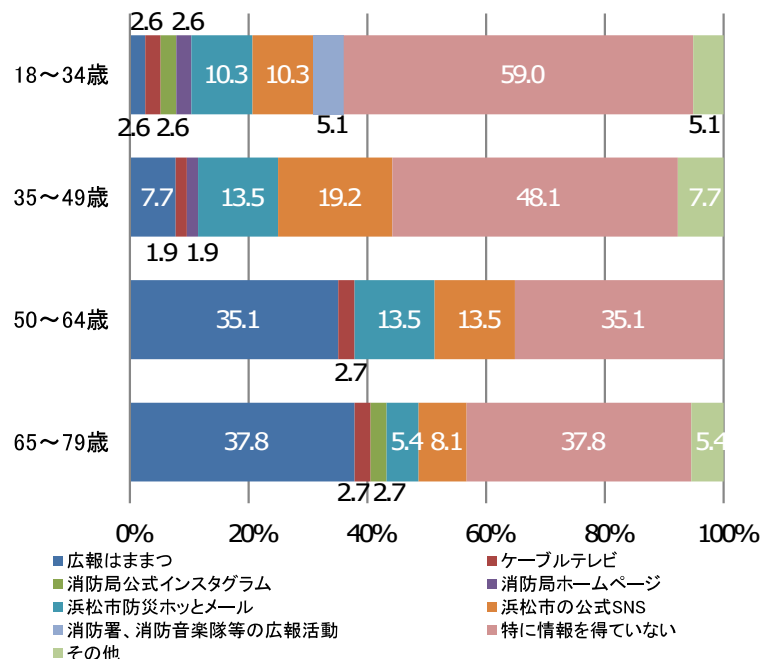
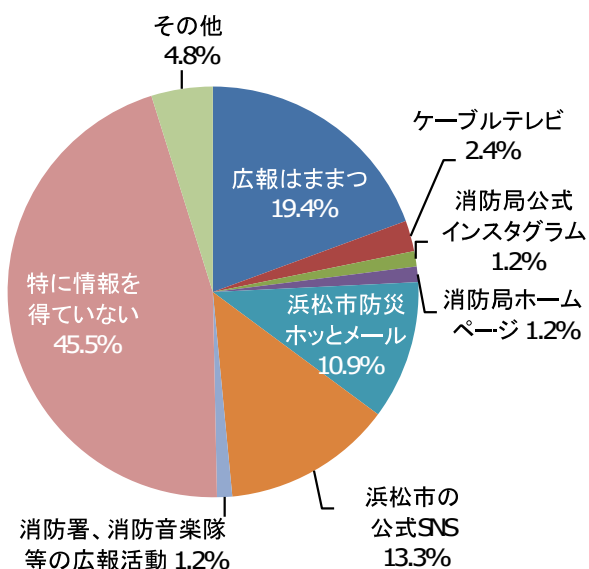
<消防局について>

問1 消防に関して知りたい情報 (n=201)



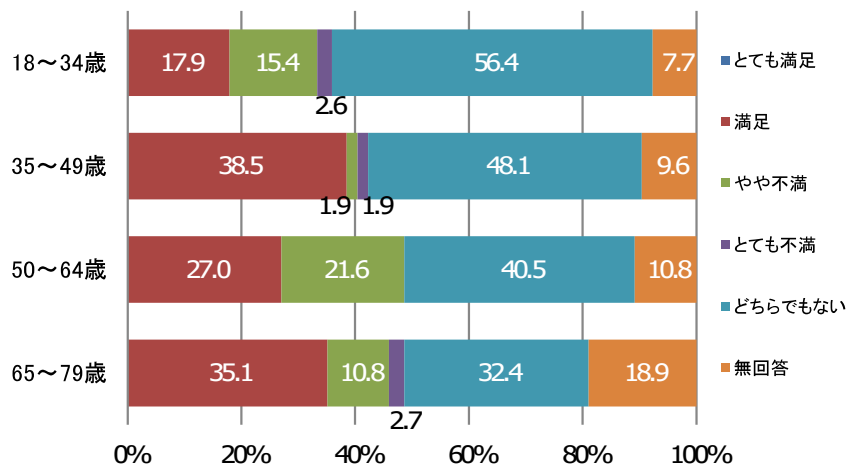
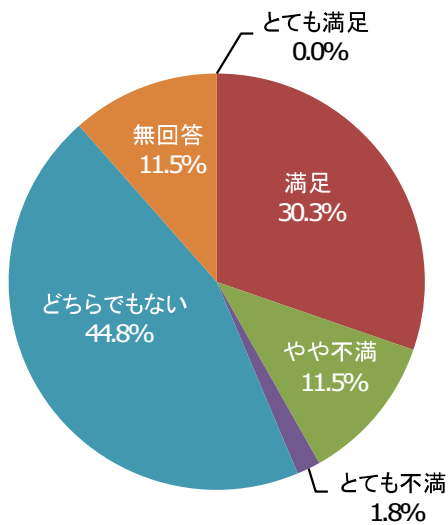
- 消防に関して知りたい情報については、「安全情報について」が約3割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「安全情報について」が最も多い回答となっています。

問2 消防に関する情報の入手先 (n=165) (問1で「1~7」と回答した方)



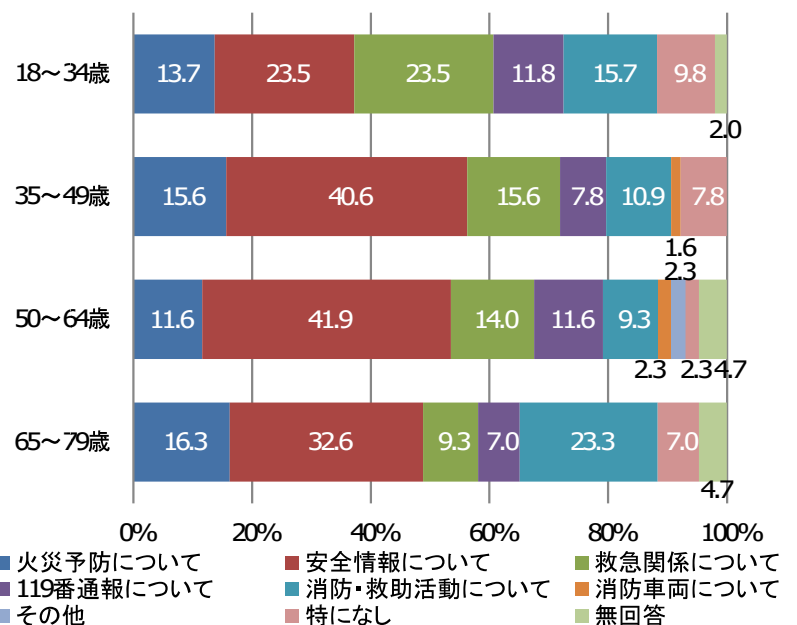
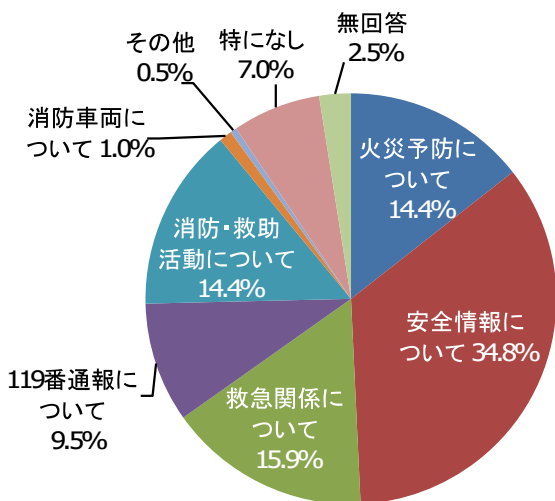
- 消防に関する情報の入手先については、「特に情報を得ていない」が約5割と最も多い回答となっていますが、入手先としては「広報はままつ」が約2割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみると、18~34歳・35~49歳では「特に情報を得ていない」が、50~64歳・65~79歳では「広報はままつ」が最も多い回答となっています(50~64歳・65~79歳では「特に情報を得ていない」も同率)。

問3 入手した情報内容の満足度 (n=165) (問1で「1~7」と回答した方)



- 入手した情報内容の満足度については、「満足」が約3割と、『不満』（「やや不満」と「とても不満」の合計）を上回っています。
- 世代別にみると、35~49歳・50~64歳・65~79歳では「満足」が『不満』を上回っているものの、18~34歳では『不満』が上回っています。

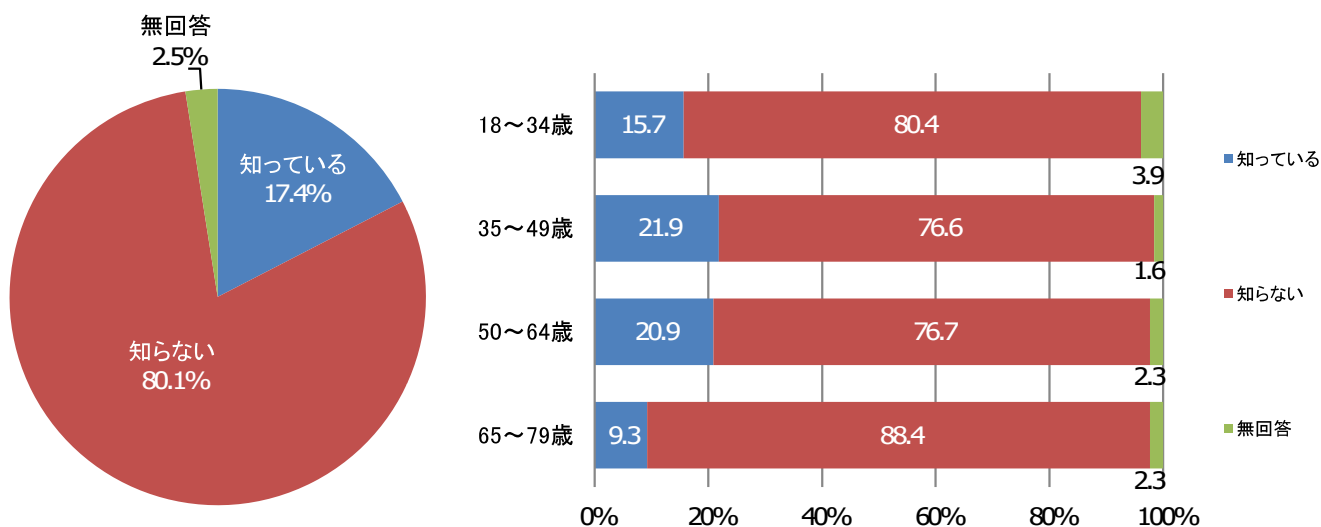
問4 消防サービスで最も力を入れてほしい分野 (n=201)



- 消防サービスで最も力を入れてほしい分野については、「安全情報について」が約3割と最も多い回答となっています。
- 世代別にみても、全ての世代で「安全情報について」が最も多い回答となっています(18~34歳では「救急関係について」も同率)。

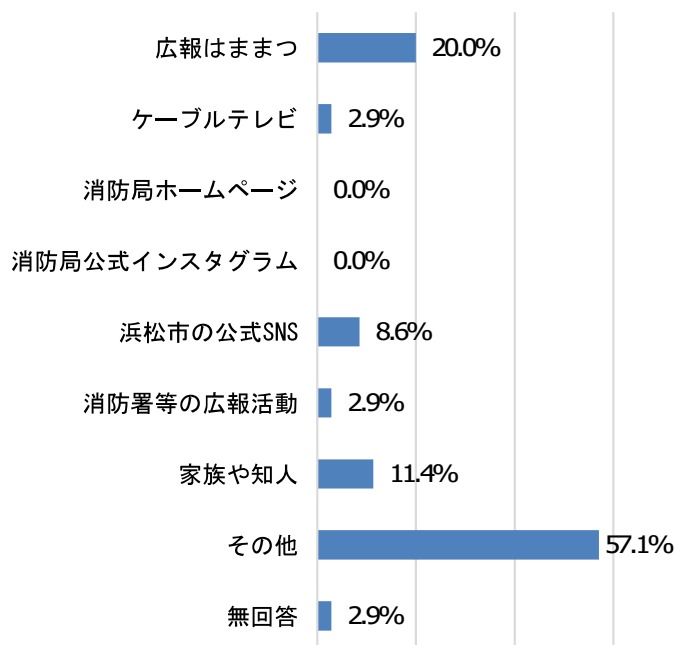
■問5 映像通報119※の主な機能や使用目的の認知度 (n=201)

※ 119番通報時にスマートフォンを活用し、通報者と消防指令センターとの間で相互に映像の送受信ができる仕組み。浜松市消防指令センターが令和6年4月1日から運用開始した。



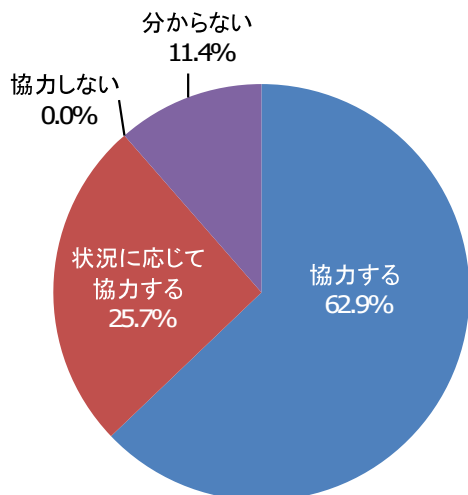
- 映像通報119の主な機能や使用目的の認知度については、「知っている」が約2割となっています。
- 世代別にみると、18～34歳・35～49歳・50～64歳の約2割、65～79歳の約1割が「知っている」と回答しています。

■問6 映像通報119を知った方法 (n=35 複数回答) (問5で「1 知っている」と回答した方)



- 映像通報119を知った方法については、「その他」が約6割と最も多い回答となっています。

■ 問7 映像通報119の協力の要請に応じられるか (n=35)
(問5で「1 知っている」と回答した方)



- 映像通報119の協力の要請に応じられるかについては、『協力する』(「協力する」と「状況に応じて協力する」の合計)が約9割となっています。

■ 問8 映像通報119に協力しない理由 (n=4 複数回答)
(問7で「3 協力しない」「4 分からない」と回答した方)

カテゴリ	件数
スマートフォンではないため	0
通信料が発生するため	0
操作手順が分からない	1
その他	3

- 映像通報119に協力しない理由については、「操作手順が分からない」が1件、「その他」が3件となっています。